



米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

早いもので今年もあとわずかです。皆さんにとって2023年はどのような年でしたか？

3月のWBC（野球）、秋にはバスケットボールやラグビーでの日本選手の活躍に元気づけられた人も多かったのではないのでしょうか？

一方ロシアによるウクライナへの侵攻は1年半以上続き、10月には中東でも戦火が上がりました。

また、物価高、歴史的円安など経済を取り巻く環境は不安定です。

来年は日本はもちろん世界的にも平和な明るい年になるとよいですね。

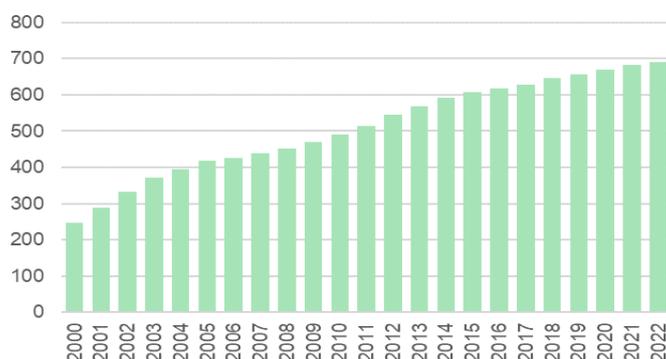


今月号のちょっと気になるお金のコラム

IMFによると2023年の日本のGDPはドイツに抜かれ世界第4位に転落することが予想されています。諸外国の伸びと日本の状況をデータで比較すると・・・

介護認定者数 690万人に

厚生労働省は先月、「令和3年度 介護保険事業状況報告」を発表しました。それによると2022年の要介護認定者数は約690万人、介護保険制度が始まった2000年の約247万人から約2.8倍になりました。



2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、ますますこの数が増えると予想されています。このような流れを受け介護保険開始当初、約2900円だった介護保険料は2023年には約6200円になっています。さらに2025年には8100円程度に上がることが予想されています（保険料は全国平均）。

介護の問題はお金だけではありません。公益財団法人介護労働安定センターの調査によると恒常的な人手不足という調査結果が出ています。待遇を改善し人手不足を解消するためにも保険料や自己負担の見直しは避けられないかもしれません。

できる備えはしっかりとしておきたいですね。



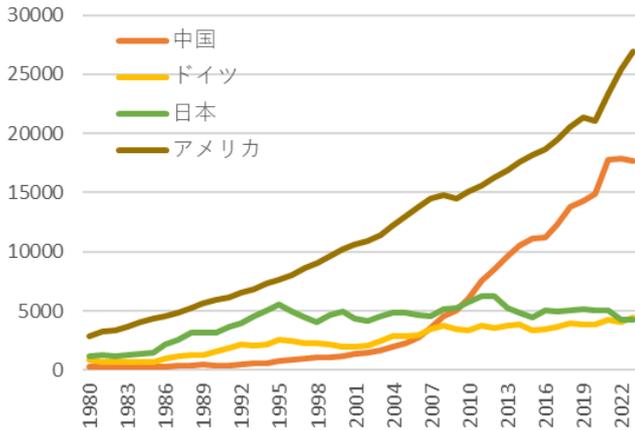
1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪府天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

日本のGDP世界4位に転落

IMF（国際通貨基金）の世界経済予測によると日本のGDPは2023年、ドイツに抜かれ世界第4位に転落することがわかりました。



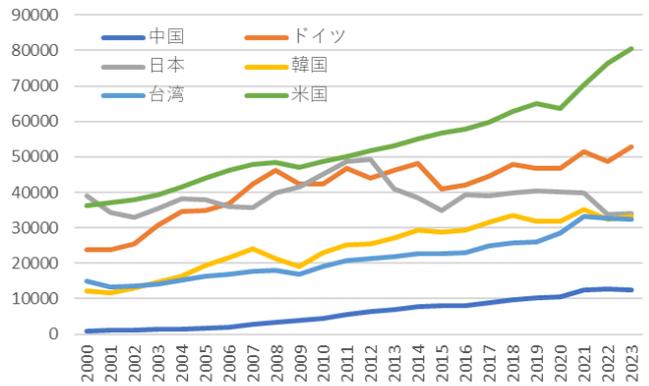
日本は戦後の奇跡的な復興により1960年代末に世界第2位の経済大国になり、1980年代には「Japa as No.1」、いずれはアメリカを抜くのではと言われていました。ところが90年代以降成長が止まり2010年には中国に抜かれ3位に、その後米中との差は大きく開いています。

下表は自国通貨建てGDPの2000年と2023年を比較（単位10億）したものです。日本は自国通貨建てでも23年間横ばい、その間中国は12.6倍、米国は2.6倍、ドイツ1.9倍と各国とも成長してきました。

	2000年	2023年	
中国（元）	9,980	125,319	12.6 倍
米国（米ドル）	10,251	26,950	2.6 倍
ドイツ（ユーロ）	2,109	4,070	1.9 倍
日本（円）	535,418	588,573	1.1 倍

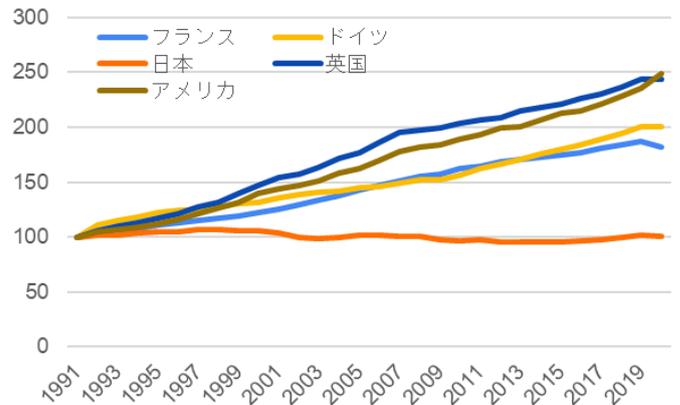
これを見ると4位転落の原因は円安だけではなさそうですね。

右上図は国民一人当たりGDP（ドル建て）の推移です。



2000年の一人当たりGDPはアメリカと同水準でしたが2010年代に入ると日本は減少、一方他国は継続的に一人当たりGDPを延ばしてきました。日本の一人当たりGDPが増えない中、アメリカは2.2倍、中国は13倍、ドイツ2.2倍と一人当たりGDPでも水をあけられ、韓国、台湾と同水準になりました。

下図は各国の賃金の推移を表しています（名目賃金）。



1990年代半ば以降、諸外国との賃金にも格差が生じています。このようなデータをみると世界の中で相対的に日本が貧しくなっていることがわかります。

賃金を自分の力で変えるのは難しいかもしれませんが医療や介護、老後資金などの準備はこのような環境を考慮してしっかりと準備をしておく必要があるのではないのでしょうか？